



提出方法

- 提出用紙を投函（行政情報コーナーの役場1階、ハピネス、公民館に設置しております。）
 - 手紙を投函（総務企画課宛に郵送ください）
 - ファックス送信
 - HP内インターネット版
<https://www.town.shimokawa.hokkaido.jp/section/2020/03/chienowa.html>
- 寄せられたご意見について、ご本人に直接回答するほか、承諾いただいた場合は、ご意見とその対応（回答）を広報紙に掲載しています。



■ お問い合わせ
総務企画課 企画調整係
☎ 4-2511
内線 225
☆ 4-251102

Q 貴重なご意見 ありがとうございます

○うどん祭りの赤ふん神輿について

歴史があり、続けてこられた方々の様々な想いは承知していますが、男性器を模した神輿に女性を乗せて大騒ぎ、というのは今の時代に合っていないのではないのでしょうか。古いものが必ず良いものとは限りません。以前は良かったとしても、見直す必要があるものも多いことも事実だと思います。

お祭りはさまざまな考え方の人がひとときを一緒に楽しむものだと思います。

その中で赤ふん神輿が祭りのクライマックスとしてなぜやっているのか、必要なものなのか、特に若い女の子たちにどう説明してあげたらいいいのか私はわかりません。

A 意見について 回答します

昨年のうどん祭りで終了だと聞いていたのですが、今年も引き続きやること。歴史的なこととして続けるとして、例えば男性器ではなく丸太にする等の配慮や、そして一部の人だけで開催を決めるのではなく、広く町民に意見を求めているかがでしょうか。

しもかわうどん祭りでは、1日目の夜の最終プログラムとして赤ふん御輿を長らく行ってきました。

赤ふん御輿が昨年まで続いてきた理由として大きく2つ挙げられ、まず1つ目は集客力があること。2つ目には、実施するために自身の時間を削りお祭りのために行動してくださる方々の想いによることです。

前回「赤ふん御輿はこれで最後」と銘打ったにも関わらず観たい、そして続けたいという意見が多く寄せられたこともあり、担当者の世代交代を経て継続していく案が進められていました。しかしながら、歳月は流れ、赤ふん御輿の捉えられ方も変化してきていると感じたため、より多くの来場者が楽しめる内容を目指し、新しい企画として「どんちゃん御輿」を実施することとしました。内容の一部はご指摘を反映させたものになっており、当日御輿の上にはうどんのオブジェを載せる想定で現在準備を行っています。

お祭りは町民の皆さんで作り上げていくものだと思います。一部の人だけで内容を決めているという印象にならぬよう、次年度より企画部員の公募も広く行っていく予定です。
(しもかわうどん祭り実行委員会)